

- 令和12(2030)年頃に人口減少への転換見込  
⇒ 税収減、一人当たりの維持管理費増により、公共施設の維持管理・更新に係る将来世代の負担が重くなる恐れ
- これまでにない厳しい財政環境に直面
- 中長期的には公共施設の維持管理・更新に更に経費を要する見込

資産保有の最適化への重点的な取組や、中長期的な視点から資産マネジメントの取組を進めるため、「資産マネジメント第3期実施方針」を策定

## 資産マネジメント第3期実施方針の記載内容

### ● 中長期的な公共建築物保有床面積の目標

#### ・中期(10年)：増加の抑制

⇒これまでの懇談会・委員会での御意見を踏まえ、「増加の抑制」について、資産マネジメント第3期実施方針において以下のとおり具体的方針を定めたいと考えており、以下の削減目標設定も含め、別途御意見を伺いたいと考えております。

公共建築物保有床面積は増やさず、市民ニーズを踏まえ削減が可能な場合には削減する。

新たな市民ニーズには施設の転用や多目的化等、市が保有する施設を有効に活用することで対応する（現在、計画が進行している本庁舎、新川崎小学校を除く）。

#### ・長期(30年程度)：人口の動向等に応じ、削減 ⇒削減目標については、10年後までに設定

第3期取組期間（R4～R13）において、各施設の複合化・多目的化等を検討・実施

### 目標を実現するための手段

- 資産保有の最適化（複合化・多目的化等）を検討する場合のフロー構築
- 機能ごとの資産保有の最適化
- 施設ごと、地域ごとの資産保有の最適化  
⇒ 地域ごとの資産保有の最適化については、ワークショップや資産マネジメントゲーム、施設白書を活用し、地元と共に取組を推進

### 施設分類別の方向性

- 本市公共建築物・インフラ施設における施設分類別の方向性  
・更新時における複合化／集約化、長寿命化の推進等、各施設分類全体の方向性

# 資産マネジメント第3期実施方針の記載内容について

## 中長期的な目標を実現するための手段について

### ●資産保有の最適化（複合化・多目的化）を検討する場合のフロー

- ・今年5月に開催した第1回委員会において、実際の資産保有の最適化や長寿命化の取組に繋げていくための検討フロー作成について御意見をいただき、現在、検討を進めているところです。
- ・本市職員が資産保有の最適化を進められるよう、資産マネジメント第3期実施方針に検討フローを記載したいと考えており、次回以降の委員会において、御意見を伺いたいと考えております。

### ●機能ごとの資産保有の最適化

- ・資産マネジメント第3期実施方針に基づき、令和4年度に各ホールの整備の方向性と取組時期等を示したホールのあり方を策定し、令和5年度以降、あり方に基づき、各ホールの適正配置の取組を推進します。

### ●施設ごと、地域ごとの資産保有の最適化

- ・昨年度の懇談会・今年度の委員会でいただいた御意見を踏まえ、人口動態、公共施設の老朽化状況等白書の情報を基に、エリア毎（中学校区単位等）に資産保有の最適化を検討・実施し、資産保有総量の増加抑制・削減を図りたいと考えています。
- ・エリア毎の資産保有の最適化を進めるためには、複合化等のキーとなる施設を定める必要があると考えていますが、施設毎にカバーするエリアが異なる（区役所や市民館・図書館は各区単位、こども文化センターは中学校区単位、小学校は小学校区単位 など）ため、具体的にどのように進めればよいか、別途御意見を伺いたいと考えています。

### ●施設の複合化・集約化を実施する際の地元への説明

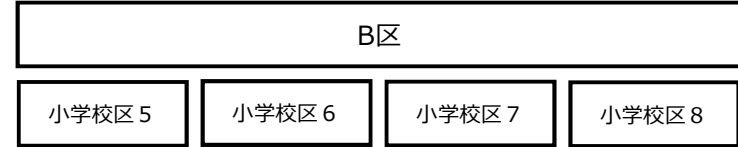
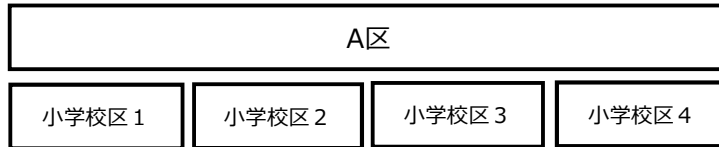
昨年度の懇談会・今年度の委員会でいただいた御意見を踏まえ、実際の施設の複合化・集約化に際しては以下の手法により地元へ説明を行い、地元と共に取組を推進していきたいと考えております。

- ・ワークショップ・資産マネジメントゲームの実施⇒本市の考え、資産保有の最適化そのものについて市民からの理解
- ・施設白書の分析・提示⇒行政が案を提示、費用対効果等を示し必要性を説明しながら地元と意見交換・検討

# 資産マネジメント第3期実施方針の記載内容について

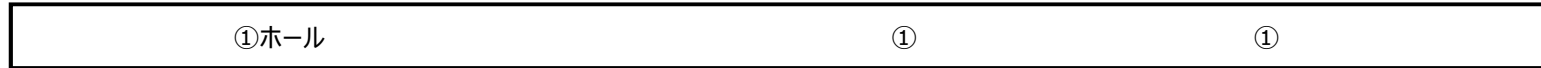
機能ごとに資産保有の最適化を検討・実施するとともに、各地域に入り、地域ごとに資産保有の最適化を検討・実施すること等により、公共建築物保有床面積について中期では増加抑制、長期では削減を図る。

(例)



**機能ごとの最適化** ホールやプール等、機能毎に最適化を検討

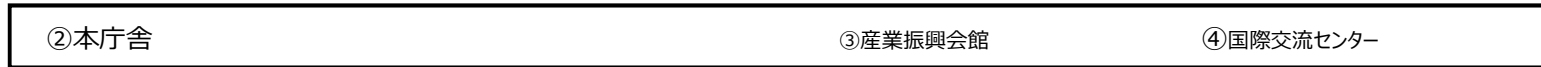
機能別



**施設ごとの最適化**

今後の人口減少を見据え、床面積は増やさない（ニーズに応じ削減）／大規模修繕・更新等のタイミングで周辺施設との複合化等を検討

市全域を対象



**地域ごとの最適化**

「区単位」(広域)・「複数の中学校区単位」(中域)・「中学校区単位」(狭域)で最適化を検討

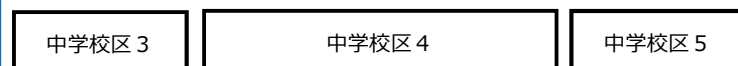
区単位



中学校区単位



小学校区単位



地元への説明を行いながら、地域毎の最適化を推進（検討の起点：中学校区）  
 ・資産マネジメントゲームの実施により、市民からの最適化への理解を深める  
 ・施設白書の分析により、地域の公共施設の老朽化状況や利用状況、コスト状況を明らかにし、人口動態や地域ニーズも踏まえ、資産保有の最適化を検討・実施

最適化を検討する際に必要となる要素について、「資産保有の最適化（複合化・多目的化）を検討する場合のフロー」にて示す